

民医連介護職のみなさまへ

2024年衆議院選挙にむけた緊急アピール

STOP！介護崩壊

～誰もが安心して生きていける社会に変えよう～

衆議院議員選挙が10月15日に公示されました。

私たちの行動で、政治を変えるチャンスです！！

介護保険制度の現状は、まさに【制度あって介護なし】の状況が加速しています。

介護の現状は

まだまだ足りない介護職の処遇改善

全産業平均には程遠く、生活に不安があり介護職のなり手が増えません

介護サービス事業所の倒産は過去最高を更新中

人手不足、後継者不足、報酬微増（物価高騰もカバーできない）、訪問介護は報酬引き下げ…

必要な時に必要なサービスが受けられない

制度の改定ごとに保険料・利用料の負担増、介護度による利用制限、自費サービスの推進…

介護の社会化から再家族化へ

制度改悪により、ヤングケアラー、ビジネスケアラー、ダブルケア・トリプルケアが社会問題に

このままじゃ、制度はあってもサービスが受けられず
在宅放置になりかねない



長期間のコロナ禍の対応に加え、2024年度の制度改悪により、

医療・介護の存続は大変厳しい状況となっています。

いざというときに頼りになり、生きるための支えとなる社会保障を整える

のは政治の役割です。

社会保障を担う医療・介護が守られ、どんな困難な状況になっても暮らしを再建できる政治に変えていきましょう。



期日前投票 10/16(水)～10/26(土)

投票日 10/27(日)

24時間365日、暮らしを支えている介護職員のみなさまは、
ぜひ期日前投票を利用し、社会を変えるための1票を投じてください

全日本民医連 理事 門協めぐみ、矢島 圭